

● 調布をゆったり楽しくハッピーに!

わくわく

2018年
10月

13号

特集

この秋は カフェ& リサイクル ショップに おでかけ!



発行：調布市福祉作業所等連絡会
企画・編集：調布コミュニティビジネス推進委員会「調布アットホーム」
デザイン：(有)パンデコングラフィックス
撮影：表紙・原子尚之

調布市福祉作業所等連絡会ガイドブック わくわく

わくわく13号 2018年10月 発行 調布市福祉作業所等連絡会 調布市市田2-2-6-8-101 TEL.042-481-3201 fuku-tennaku@bz-f.com.nc.jp 企画・編集 調布コミュニティビジネス推進委員会「調布アットホーム」

life style

このページでは、障がい者の生活の1コマをご紹介します。



「自転車」と「農作業」を楽しんでいます

1994年に交通事故で障がいを負い、つづじヶ丘にある作業所「創造印刷」を利用する山田賢一さんは、きさくで明るく、誰とでも話せる人気モノ。周りからは「ヤマケンさん」と呼ばれています。

今は自転車と、作業所で行う農作業にはまっています。自転車はクロスロードバイクとママチャリの2台を所有。通所に使うほか、友人と自宅周辺の「カフェめぐり」や、市内の「自転車専門店めぐり」を楽しんでいます。

また、自転車好きが高じて「弱虫ペダル」「スマイリング岩熊自転車」など自転車漫画にもはまり、家で読んでいる時間も「幸せ」と笑います。

農作業は、「創造印刷」が敷地内に「創造農園」を開設したのがきっかけ。土地の開墾から関わり、今は、きゅうり、なす、にんじん、トマト、ジャガイモ、パジルなどさまざまな野菜を無農薬で育てています。

汗をかき、愛情を込めた野菜が成長していく姿を見られるのが魅力だそう。収穫した野菜は、創造印刷の施設前やグループ施設で仲間と販売しています。最近では2つの「好き」が高じて、自転車ファッションで農作業を行っています。なんだかイタリアン！ 楽しそうですね。

※次号「わくわく14号」は、2019年3月に発行する予定です。

特集

この秋は カフェ& リサイクルショップに おでかけ!

調布市にあるわくわくおすすめ9つのカフェと
2つのリサイクルショップをご紹介します!
散歩がてらブラブラおでかけください。



めじろ作業所に併設するカフェ。旧甲州街道と三鷹通りの交わる交差点際にあり、季節に合わせたさまざまなドリンクと、専属のパティシエが作るケーキが人気を集めています。これからの季節は体が温まる熱々のホットサンドやホットココアもおすすめ。白色が基調のおしゃれな店内では、作業所利用者が作成した布製品や小物、メモ帳、一筆箋なども販売しています。11月には開店5周年イベントの開催も予定しています

安心して食事ができる自然派家庭料理の店 レストラン クッキングハウス (NPO法人 クッキングハウス会)

心の病気を持つ人を支援しているクッキングハウスが経営するレストラン。提携した農園や養鶏牧場から仕入れる季節を感じさせる旬な野菜を使った、ごはん(白米or玄米)、主菜、副菜、漬物、みそ汁、デザートがセットのオーガニックランチを日替わりで提供しています。テーブル席のほかに、子連れにはうれしい座敷席もあります。20回食べると1食無料+手作りエコ石鹸の試供品がもらえるポイントカードも発行しています。



DATA
布田1-10-5稲毛屋ビル1階 ☎042-488-6369
🕒11:30~14:30(ランチ)
🗓️土曜、日曜・祝日

徒歩2分! 布田駅から徒歩1分 カフェギャラリー さえずり (NPO法人 羽ばたく会)



DATA
国領町1-3-1 調布セントラルアパート1階
☎042-444-8818
🕒10:30~17:00
🗓️土曜・日曜・祝日・月末日

メンバー手作りのこだわり焼き菓子はいかが? ティールーム クッキングハウス (NPO法人 クッキングハウス会)

心の病気を持つメンバーが一つひとつ時間をかけて手作りで焼いているクッキーやマカロン、フロランタンなどの焼き菓子や、はっさく、かぼちゃ、オレンジ、豆乳、人参、甘夏、レモンなど季節の果物、野菜を使った日替わりシフォンケーキを販売。提携養鶏牧場の安全卵やなたね油、国産小麦粉などを使用し、おいしくて、安心して、ヘルシーと人気。誕生日などのギフト発送もしてくれます。



DATA
布田1-26-7山富ビル102・103 ☎042-484-4103
🕒11:30~15:30 🗓️土曜、日曜・祝日

手作りジェラートとカレーが絶品! カフェ大好き (社会福祉法人 調布を耕す会)

京王多摩川駅から徒歩1分のところにあり、今年22周年を迎えた地元で愛されているカフェ。ルーから手作りのカレー、パンがおいしいサンドイッチ、濃厚な焼きかぼちゃプリン、種類も豊富でコーンまで自家製のイタリアンジェラートなど名物も多く、長年のファンでにぎわっています。ウッドでゆったりとした店内では、壁面を解放して無料ギャラリーを開催。焼き菓子や陶器や布製品などを販売する福祉ショップも併設しています。



DATA
多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1階 ☎042-481-3933
🕒9:30~17:30、日曜のみ10:00~17:30
モーニングは11:30まで 🗓️月曜・祝日



テイクアウトできるホットケーキ「はにかみムーン」が登場 はにかみや (社会福祉法人 大泉旭学園 旭出調布福祉作業所)

同作業所の2階にある喫茶スペース。テーブル席と畳スペースがあり、遊具も用意されるなど、子ども連れでも安心して過ごせるカフェ。子ども連れの利用では小学生以下の子どものジュースが1杯無料になるサービスも実施しています。人気はホットケーキ。厚さ2cm、直径10cmのケーキが2枚重ねのプレーン、黒豆きな粉と黒蜜をかけて食べる米粉ベースのケーキ、同店名物のオニオンを練りこんだケーキの3種類があり、ランチにはサラダとスープが付くセットもあります。

DATA
小島町3-26-1 旭出調布福祉作業所2階
☎042-485-5885
🕒12:30~16:00
🗓️土曜・日曜・祝日 土曜日は月1回営業



住宅地に突然現れるおしゃれなカフェスペース ギャラリー&カフェ Pedalo ペダロ (NPO法人 ファーストステップ)

平成29年4月にオープン。ジャズが流れる店内では、オリジナルブレンドコーヒーやカフェオレ、100%果汁ジュース、さらに、生ビール、スパークリングワインなども提供。パスタ3種、オリジナルピザ、ソーセージの盛り合わせ、トーストなど食事も提供しています。また、店内では、同施設の利用者が描いた絵画や調布・府中・多摩の3市の福祉作業所の自主製品のほか、北欧食器も販売。営業時間外のスペース貸切利用も相談にのってくれます。

DATA
染地3-1-946 ☎042-426-4223
🕒月~金10:00~17:00、第1・3土曜日11:00~18:00
🗓️第2・4・5土曜・日曜・祝日



京王線の車両が見えて迫力満点 ベーカリー&カフェ ほっとれ〜る (社会福祉法人 調布市社会福祉事業団)

京王線の国領駅近く、電車が地下に出はいる場所に平成29年2月にオープンしたカフェ。パン工房「すまい」が作った無添加40種類のパンと、店内で焼いた数種類のパンが並び、おいしくて安いと評判。店内で食べることができて、コーヒー、紅茶、アイス、キッズジュースはなんと100円で提供されています。キッズスペースもあり、子ども連れでも安心して利用できます。最近では、大つぶピーナッツクリーム「コッペパン」が人気です。



DATA
国領町3-19-1 ☎042-426-9481
🕒10:30~18:00 土曜・祝日のみ17:00まで
🗓️日曜



一般と同じコートとゴール、ボールを使用し、5対5で10分のピリオドを4回行います。クラス分けは以下のようになります。

車いすバスケットボール選手のクラス分け

持ち点	障害の程度	選手の体の主な状態
1.0または1.5	重い	腹筋、背筋が機能せず、座位での体のバランスをとることができない
2.0または2.5	やや重い	腹筋、背筋がある程度機能しており、前傾の姿勢がとれる
3.0または3.5	やや軽い	下肢にわずかな筋力があり、深い前傾姿勢から早く上体を起こすことができる
4.0または4.5	軽い	いすを大きく傾けることができる



車イスが転倒したら自力で起き上がるのがルール。練習でも激しく車イスがぶつかり合う

新見さんは、東京で長い歴史を持つ車イスバスケットボールチーム「東京ファイターズB・C」のキャプテンです。20歳の時に左膝に骨肉腫ができ、その手術の際、人工関節となり、足首を上にあげることができない障害が残りました。子どもの頃から球技が好きで高校時代はハンドボール部に所属するスポーツマンだった新見さんは、障



この日の練習に参加したメンバー

同チームの詳細は [東京ファイターズB.C](#)

選手は、障害の度合いにより1点から0.5刻みで4.5点まで持ち点が決められ、5人の合計が14点以内でチームを編成し、障害のクラスが偏らないように工夫されています。ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じで、違うのはダブルドリブルがないこと。1回のドリブルにつき2回以内のタイヤ操作が許され、3回以上ごととラヴェリングになります。トラヴェリングにならなければ何度もドリブルとタイヤ操作が行えます。素早い動きと磨かれたテクニク、激しいコンタクト、想像をこえる迫力が魅力のダイナミックなスポーツです。

新見健太さん

(東京ファイターズB.C)

インタビュー

新見さんは、東京で長い歴史を持つ車イスバスケットボールチーム「東京ファイターズB・C」のキャプテンです。20歳の時に左膝に骨肉腫ができ、その手術の際、人工関節となり、足首を上にあげることができない障害が残りました。子どもの頃から球技が好きで高校時代はハンドボール部に所属するスポーツマンだった新見さんは、障

害を持ったあともスポーツを続けようと、東京都多摩障害者スポーツセンターに相談し、東京ファイターズB・Cを紹介されました。東京ファイターズB・Cは、東京を中心に神奈川、埼玉の20代から50代までの選手が所属するチーム。東京都多摩障害者スポーツセンター(現在建て替えて味の素スタジアムに仮移転中)と、所沢サン・アビリティーズという施設で、週2回練習を行っています。

当初はストロップアンドゴーを繰り返して、素早くターンする車イスの操作や、動きながらパスを出したり、ボールを受けてシュートする動作がままならず、先輩から一つ一つ技術を教わり、「慣れるまでに数カ月かかった」といいます。車いすの魅力は、「車イスを操作する技術と速さ、そして、激しくぶつかり合う迫力。一般のバスケットボールのダンクのような派手さはないですが迫力は負けないし、細かな技術がとても光る競技です。また、チームメイトと練習したり、遠征に出かけるのも楽しい。仲間と出会えたのも魅力です。障害を持つことで出会えた今の僕の生きがいです」と語ってくれました。

多摩市役所に勤務する新見さんは26歳



あれこれ

「車イスバスケットボール」編

今号は、東京オリンピックで、飛田給駅近くの「武蔵野の森総合スポーツプラザ」で行われる「車イスバスケットボール」を紹介しします。

お手頃価格で家庭的な味のカレーを提供 シェア かれーや2号店

(社会福祉法人 くのき会)

調布駅と西調布駅間の旧甲州街道沿いにある、赤い看板が目印の「おいしい」と評判のカレー店。カウンターとテーブル10席の店内は、お昼時は地元住民や車で来店者で満席になる事も。カレーはポークとチキンの2種類で、サイズは普通・中・大盛りが選べ、カツや唐揚げをトッピングが楽しめます。数量限定で日替わりサラダ、毎週木曜は中華丼も提供しています。全品テイクアウト可能。カレーは350円からとお手頃価格も魅力です。



DATA
下石原1-42-1
☎042-481-1157
☎10:00~19:00 土曜・祝日は~18:00まで
☎日曜・祝日の月曜

特集 この秋は カフェ&リサイクルショップにお出かけ!

来年春には飛田給1丁目に移転し新装開店

リサイクルショップ 夢市

(NPO法人 高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム)

高次脳機能障害の方を支援する調布ドリームが飛田給駅南口近くで運営するリサイクルショップ。地域の方々から寄附してもらった服や靴、鞆、食器、雑貨等を整備して低価格で提供。おもちゃ、アクセサリ、キッチングッズ等、お買得品が日々変わり、秋は陶器市、冬はクリスマスグッズなど季節に合わせたイベントも開催。絵葉書や、犬用のクッキーなどの手作り品も販売しています。



DATA
飛田給2-22-7
TBKビル1階
☎042-444-3068
☎10:00~15:00
☎日曜・月曜・祝日

溶岩窯で焼く香り高いパンが魅力!

DATA 小島町1-22-7

ベーカリー&カフェ ふあんふあ〜れ

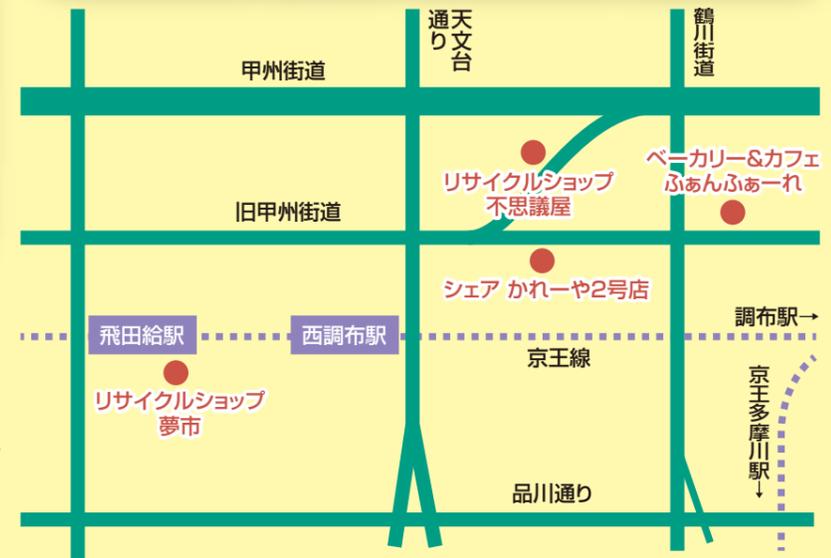
(社会福祉法人 新の会)

☎042-490-8637

☎9:00~17:00

☎日曜・祝日

旧甲州街道沿いにある人気のパン屋さん。溶岩窯で焼く約50種類のパンや手作りスイーツが人気。テイクアウトのほか、店内で淹れたてのコーヒーなどとともに味わえます。スープ付ランチセットや、午後のおやつセットなどパンとドリンクのお得なセットもあり、雨の日は「パン10%引き!」になるサービスも実施中。ガラス越しに光が差し込む白を基調とした店内は明るく、気持ちのいい時間が過ごせます。



雑貨、衣類、小道具とまるで宝探し気分!

リサイクルショップ 不思議屋

(NPO法人 エクセルシア)

西調布駅から徒歩10分ぐらいのところに、障害者の就労支援をしているエクセルシアが運営する店。寄付などで集まった商品を手入れして販売しています。ガラスや陶器の食器、子ども向けのおもちゃなど、いろんなものがとぎれとぎれと並べられ、リーズナブルな値段で提供されています。何がみつかるかわからない、わくわくした時間が楽しめるのが魅力です。



DATA
下石原1-5-5 ☎042-489-3754
☎10:00~18:00 ☎月曜・火曜

第41回調布市福祉まつりに掲載のお店が大集合!

12月1日(土)・2日(日)に調布市役所前庭をメイン会場に開催されるイベントに今回ご紹介したカフェとリサイクルショップが大集合します!

子どもに大人気の豪華景品が当たるトレジャーツアーや福祉バザー、ステージ発表など楽しい企画盛りだくさん。ぜひご来場ください!

10月20日(土)

飛田給「すずかけフェスタ」開催

飛田給の知的障害者援護施設なごみで、6回目となる地域交流イベント「すずかけフェスタ」が開催されます。模擬店のほか、吹奏楽、恒例の和太鼓の演奏、全員参加のサンパなどで盛り上がります。時間は10:00～15:00。

知的障害者援護施設なごみ ☎042-481-7371

11月11日(日)

飛田給 第3回「ほりで～ぷらん」開催

休日になかなかお出かけできない障がいのある方のためのスポーツ&レクリエーションイベントも3回目となりました。今回は、飛田給の味の素スタジアムにある東京都多摩障害者スポーツセンターで開催されます。時間は11:00～15:00。

調布市福祉作業所等連絡会 ☎042-481-3201

11月17日(土)

調布駅前広場「ジャングルバザー」開催

調布駅前広場で、調布の秋の風物詩となりつつある「お祭り」です。日用雑貨から衣類まで多彩なバザーのほか、屋台やステージ、ゆるキャラも登場します。お子様連れでぜひ、お出掛け下さい。時間は10:00～15:00。雨天の場合は18日開催。雨天順延。

しごと場大好き ☎042-486-1022

11月17日(土)・18日(日) パルコ前「福祉作業所手作り品販売会」開催

調布パルコ前では販売会が行われます。わくわくでもおなじみの作業所で作られた手作り品が大集合します。各作業所の人気商品が揃います。ぜひお買い求めください。時間は、10:00～16:00。

調布市福祉作業所等連絡会 ☎042-481-3201

調布市福祉作業所等連絡会加盟団体

- (福) 調布市社会福祉協議会
調布市希望の家 本場 ☎042-481-7700
調布市希望の家 分場 ☎03-3305-7737
希望の家深大寺 ☎042-426-8577
障害者地域活動支援センタードルチェ ☎042-490-6675
放課後等デイサービス ぴっころ ☎042-490-6675
- (福) 大泉旭学園 / 旭出調布福祉作業所 ☎042-485-5885
- (福) くすのき会
くすの木作業所 ☎042-486-9129
シェア ☎042-481-1157
- (福) 新(あらた)の会
はあと・ふる・えりあ / ふあんふあ〜れ ☎042-490-8625
- (福) 調布市社会福祉事業団
すまいる 本場 ☎042-481-7723
すまいる 分室 ☎042-426-9481
そよかぜ ☎042-481-7663
ちょうふだぞう ☎042-487-4552
調布市デイセンターまなびや ☎042-442-9552
- (福) 調布を耕す会
しごと場大好き ☎042-486-1022
しごと場大好き国領 ☎042-444-3733
カフェ大好き ☎042-481-3933
- (福) 巣立ち会 / こひつじ舎 ☎042-488-4433
- (福) 新樹会 / 創造印刷 ☎03-5314-7081
- (N) 爽々苑
爽々苑 ☎042-480-8294
爽々苑やわらぎの家 ☎042-481-6262
- (N) ゆうゆうくらぶ / ゆうゆうくらぶ ☎042-499-8956
- (N) 調布心身障害児・者親の会
びいす ☎042-230-9776
下石原びいす ☎042-480-5775
- (N) なないろの会 クレヨンキッズ ☎042-490-3933
れいんぼー ☎042-499-6777
- (N) 高次脳機能障がい者活動センター
調布ドリーム ☎042-444-3068
- (N) にこにこの会
にこにこキッズルーム ☎042-499-5660
放課後等デイサービスふくふく ☎042-444-7807
- (N) 羽ばたく会
めじろ作業所 ☎042-443-1633
カフェギャラリーさえずり ☎042-444-8818

- (N) ひなげしの会
第1ボビーの家 ☎042-483-4230
第2ボビーの家 ☎042-483-7090
第3ボビーの家 ☎042-426-7506
- (N) ふみ月の会
ふみ月チャレンジ染地 ☎042-486-9901
ふみ月チャレンジたま川 ☎042-446-0633
- (N) ポコポコ・ホッピング
ポコポコ・ホッピング神代団地 ☎042-483-1114
ポコポコ・ホッピング富士見町 ☎042-486-5922
- (N) リフレッシュ工房 リフレッシュ工房 ☎042-486-4531
- (N) わかばの会
わかば事業所 ☎042-486-317
わかば第一事業所 ☎042-484-1360
わかば第二事業所 ☎042-488-2870
- (N) エクセルシア
リサイクルショップ 不思議屋 ☎042-489-3754
- (N) クッキングハウス会 ☎042-498-5177
レストラン クッキングハウス
ティールーム クッキングハウス
クッキングスター
- (N) ちょうふの風 ☎042-444-5514
- (N) ファーストステップ ☎042-426-4223
- (N) らぶらんど らぶらんど調布 ☎042-452-8955
- (一社) ソウスマイル スマイルパークCHOFU ☎03-5315-5981
- (一社) 生活支援ネット
アーリーバード ☎042-446-2550
アーリーバード 柴崎事業所 ☎042-499-6030
- (株) ベイフォワード
放課後等デイサービスわかば 西調布店 ☎03-5969-9047
わかば 仙川店 ☎042-426-7982
- (株) シエンス / 放課後等デイサービスたんぼ ☎042-444-0471
- (株) ファミリーホーム / ドリームボックス下石原 ☎042-444-7155
- (株) メイクバイ・ホールディングス
放課後等デイサービスグリーンアップル ☎042-444-4216
- (株) ビコウス / リポーンフューチャーセンター ☎042-444-4344
- (有) アイ・ファクトリー / ハッピーテラス調布教室 ☎024-426-8903

(N)=NPO法人、(福)=社会福祉法人、(一社)=一般社団法人、(株)=株式会社、(有)=有限会社

表紙について

福祉作業所の、ふとしたひとこまを紹介する「作業所のある風景」。第3回は今号の特集でも登場した「カフェ大好き」。スタッフの活気溢れる笑顔が素敵ですね。



詳しくは連絡会のホームページをご覧ください。
<http://chofufukurenaku.sakura.ne.jp/>



連絡会の
新しい仲間
を紹介!

平成30年4月、仲間に加わりました!

社会福祉法人 新樹会 創造印刷

創造印刷は、精神分野において、日本で最初の障がい者通所授産施設として設立され、40年以上の歴史があります。現在、時代の変化に合わせて、内も外もリニューアルを図っている真っ最中です。どのような利用も楽しく通えるように印刷、農業、手芸、陶芸、介護補助、清掃、喫茶運営、内職系軽作業、厨房作業、お菓子作り、PC関連業務などさまざまな作業を用意しています。また、同じ新樹会が運営する地域生活支援センター「希望ヶ丘」、共同生活援助/短期入所事業所「粹交舎」、グループの山田病院などと距離も近く、理念を共有しています。福祉と医療が密接な連携をとりながら、さまざまな状態、時期にも対応できるのが特徴です。見学、体験入所など大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。



東つつじヶ丘2-29-1
☎03-5314-7081 (精神障がい者の就労継続支援B型事業所)
<http://kenseikai-group.com/index.html>

平成28年6月、小島町3丁目にオープン

NPO 法人らぶらんど らぶらんど調布

らぶらんどは、思春期発症で引きこもっていた同級生が、化粧をして通える場所を作ろうと2012年に熊本で立ち上がった法人です。らぶらんど調布は、5番目の事業所で、調布市初の就労継続支援A型事業所です。作業内容は、ポスティング(タウン誌などの定期配布)と清掃(公共施設、マンション4箇所定期清掃)をメインに行うほか、マドレーヌの販売も行っています。

当事者の立場に立った“幸せ”や“社会参加”を見据え、本人の夢に寄り添う個別支援を行っています。障がいを理由に夢をあきらめた方、夢なんて思い描いたこともなかった方、まずはお問い合わせください。スタッフ一同全力で、あなたの夢をかなえるお手伝いをいたします。



小島町3-33-1 102./202
☎042-452-8955 (指定就労継続支援A型)
<https://www.rapland.org/home>

若手スタッフ リレーインタビュー 第3回



高校時代の守備はサードだったそうです



「1日の中のここにいる8時間だけでも楽しく過ごして欲しい」とさまざまな企画を考え、実施しています

次回のインタビューは「しごと場大好き」の近田真之さんです。

びいす / 下石原びいす施設長 小田部 司さん

※このコラムは登場者が次の取材者を紹介していく「リレーコラム」です。

若手リレーインタビューといいながら、今号もベテランの登場です。小田部さんは、茨城県出身。短大卒業後、東京の福祉の専門学校に入り、その講師の紹介で、福祉作業所「ポコポコ・ホッピング」の法人立ち上げ準備スタッフとして就職。以来、調布に住み、作業所「びいす」下石原びいすの立ち上げと、20年近く調布の福祉のしごとに携わってきました。趣味は「野球」。中学から始め、甲子園を目指した野球少年で、今も土日は、少年野球のコーチを務めます。子供が中学生で、硬式のクラブチームで野球をしているので、そちらも応援。「平日は『福祉』、休日は『野球』。僕の人生2つだけ」と小田部さんは笑います。

料理も好きでハンバーグ、餃子、ミートソースなど、ミンチ肉を使った料理が得意で、家族にもよくふるまうそうです。福祉で心がけているのは「平常心の対応」。利用者を楽しんでもらえるようにアウトドアやプール、カラオケなどさまざまな企画をスタッフと立案。「利用者の成長の姿を目にするのと何よりうれしい」と語ってくれました。



3つの作業所の立ち上げスタッフを経験した小田部さん